

東部地域交流センター

市民検討会便り

vol.3

概要

東部地域交流センターの基本設計を語り合う、今年度最後の市民検討会が開催されました。前回までに参加者の皆さんから出された意見をもとに設計者(小林清文建築設計室)が修正案を提示し、参加者の皆さんには「使い方」の観点から具体的な意見を出していただきました(詳細は、2~4ページをご参照下さい)。



1. 施設案へのアンケート

設計案の説明のあと、参加者の皆さんに、今回の案に対してアンケートをしてみたところ、下記のように多くの方から賛同の意見が得られました。



結果

①良い	5票
②まあ良い	19票
③ちょっと待った	4票
④その他	2票

2. 設備や素材に対する意見交換

来年度に予定する設備や素材の検討に向けて、意見交換をしました。

Q1. 多様な障害者に向けて、文字・音・振動・光で情報を伝える設備の導入は?

A1. 電光掲示板の設置を検討していますので、ある程度の対応は可能です。なるべく最新の良い設備を入れたいと考えています。

Q2. 聴覚障害者用の補聴器を補助する磁気ループについては?

A2. 施設への埋め込み型は修繕等に問題が多いので、備品として対応することを考えています。

Q3. 藤川にふさわしい内観、外観のイメージは?

A3. <内観>ロビーは仕切りがなく、広々とした近代的な空間イメージです。
<外観>蔵が並んでいる様子を表現しており、藤川の歴史的景観を損なわないようにしています。また格子を用い、木の温かみのあるイメージをつくり出します。



今回のま・と・め

アドバイザーからのコメント

- ・市民検討会を重ねてきて、議論の熟度が上がってきた印象を受けました。発言の中でも、掲示板、ゴミ箱など、生活のシーンが見えてきたのは今回の成果だと思います。
- ・今回の議論を受けて、市や設計者とともに、大学でも景観などについて検討を深めていきます。
- ・愛産大の学生たちはバスや電車を利用する際にかかわりがありますし、さらには人間環境大学や岡崎女子短期大学とも連携をしていきましょう。
- ・広場などに皆さんの手作りのものが設置できるといいですね。



近隣の大学とも連携していきたいですね

小川先生
(愛知産業大学)

東岡崎・藤川地区整備課長からのコメント

- ・昨年度の計画案を活かしながら進めてきましたが、今回の設計案にまとめたのは、皆さんの力添えがあってのことだと思います。
- ・来年の3月か4月頃には地域交流センターの基本設計を皆さんに報告する場を設けたいと考えています。次年度は、詳細に関する設計を進めていきたいので、よろしくお願いします。

今後ともよろしく
お願いします！



山崎課長
(東岡崎・藤川地区整備課)



アンケート結果 (一部抜粋)

Q. 今後についてのご要望など

- ・利用者の安全、安心を最大の眼目として進めてもらいたい。
- ・この施設を「自分たちはどのように使いたいか」を出し合って、より多くの人が集える場にしたいです。
- ・他の地域交流センターの見学ツアー&使い方勉強会を実施して欲しい。
- ・地域の人々の老若男女すべての世代の交流の場、地域の文化センターとして育てていきたいですね。ロマンを持っています。

Q. 設計者への要望・激励など

- ・大変よい案だと思います。
- ・施設運営についても考えられている。
- ・デザインを重視されるのは判りますが、維持管理のコストも含めて最終設計へ折り込んでください。
- ・建築中の段階でも素材等がよくなければ、そのたびに変更を加えていただきたいです。
- ・コーディネーターはじめ、関係者の皆さんのご苦労に感謝します。交流センターの完成を楽しみにしています。

今後の予定

説明会

【日時】2009年3月～4月頃

【場所】未定

【内容】これまでのみなさんの意見を反映した設計案についての説明会

ご協力ありがとうございました。

お問合せ

岡崎市東岡崎・藤川地区整備課 総務班

TEL: 0564-23-6452

Fax: 0564-23-6535

E-mail: seibi@city.okazaki.aichi.jp

発行 岡崎市東岡崎・藤川地区整備課

編集 (特活)岡崎まち育てセンター・りた